

シエムリアップ MoiMoiライフ

ISSUE
117

「Moi Moi」とはクメール語で「ひとつずつ、ゆっくりと」の意味。恵み豊かなカンボジアでのスローライフをお届けします。



小出 陽子 (Yoko KOIDE)

1992年早稲田大学大学院卒。一級建築士。2000年、UNESCO/JSA 遺跡修復オフィス建設のため、カンボジアに赴任。2005年～2020年、シエムリアップにてレストラン Cafe Moi Moi を経営。2005年 JST (NGO: アンコール人材養成支援機構) を設立し、農村地域の支援活動を始める。2013年“アンコールの都の西北”に公立のバイヨン中学校を創設。2019年には高校も併設され、現在、全校生徒1,000人の学校運営を行っている。

● JST ホームページ

<http://www.jst-cambodia.net>

コロナ禍乗り越え、 自立したスタッフたち

一昨年11月、コロナ禍が明ける見通しが立たない中、一時休業を決断した Cafe Moi Moi ですが、ついに完全に閉店することになりました。

突然のパンデミックにより観光客来訪が途絶えてから1年半。昨年11月にはカンボジアでも新型コロナウイルス水際対策のための渡航規制等が解かれ、シエムリアップ市内の道路整備もほぼ完成し、空港も再開。観光客受け入れ態勢が整ってきたこの時期になぜ？とお思いの方もいらっしゃるかもしれませんね。

理由はいろいろありますが、一番の理由は、その後、スタッフたちがそれぞれに自営を始め、彼女たちの商売が軌道にのってきていることにあります。例えば、勤続10年以上のスタッフ5名は、市内や村の自宅前のスペースで売店や食堂を営み始めました。地元密着型経営なので、近所付き合いからのお得意さんが徐々に増え、今後、シエムリアップの経済が回



姉妹で売店を始めた元スタッフ

復していく流れで、さらに商売を充実・拡大できるのではないかと期待が膨らみ始めているのです。ただし、口を揃えて言うのは、自分で商売を始めてみて初めて、自力で稼ぐことがいかに大変かということ、毎月必ず給料をもらえることがありがたさがようやくわかった、ということ。そうです、小さなレストランであっても、毎月の資金繰りだけでなく様々な気配りなどいかに大変だったか、ようやくわかってくれましたね。笑。

コロナ禍がきっかけで始まった新たな挑戦で、元スタッフたちはこれまでになく成長したようです。17年前、本業の傍ら始めたレストランですが、なんとかきれいに幕を閉じることができそうで、私も一安心。今後は彼女たちの自立を陰ながら応援していきたいと思っています。そして、Cafe Moi Moi を長い間支えてくださった皆様、ありがとうございました！